

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	特発性黄斑円孔の閉鎖過程における黄斑部網膜の微小形態の変化に関する研究
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2013年1月～20年12月の間に本学附属病院にて硝子体手術を施行された特発性黄斑円孔症例
③ 概要	特発性黄斑円孔は硝子体手術の発達によって非常に良好な手術成績（閉鎖率90%以上）が得られていますが、円孔閉鎖のメカニズムや円孔閉鎖後に生ずる黄斑部の形態変化と視機能変化の関係については、詳細に判明していない部分が残されています。本研究はこれらを解明し、特発性黄斑円孔の治療成績と治療のクオリティをさらに高めることを目標としています。
④申請番号	2019-0052
④ 研究の目的・意義	当院で硝子体手術を受け閉鎖した特発性黄斑円孔の術後形態と視機能の変化の関連を解明すること。
⑤ 研究期間	倫理審査委員会承認日から2025年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	使用するデータは、個人が特定されないように匿名化を行い、本学内での研究に使用します。他の機関へ情報を提供することはありません。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、黄斑円孔に関する術前・術後の情報（視力、視野感度、円孔の形態）
⑨利用の範囲	新潟大学眼科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学眼科教授 福地健郎
⑪お問い合わせ先	新潟大学眼科医局 025-227-2296 長谷部日 hirimah@med.niigata-u.ac.jp